

政策体系	政策No.	4	政策名	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)	施策幹事課	スポーツ・文化振興課			
	施策No.	4	施策名	スポーツを楽しむ環境づくりの推進	施策幹事課長名	久木田 勇			
施策関係課名		市民活動推進課、国民体育大会推進課、健康増進課、観光PR課、社会教育課、国分中央高等学校							
1 基本計画期間(2018年度～2022年度)における施策の方針									
市民が夢や希望を持って生涯にわたり、それぞれの志向にあったスポーツやレクリエーション活動を継続できる環境づくりに取り組みます。また、各種スポーツ大会・イベント等に対応できる施設や設備等の整備を行い、大会・イベント等の誘致拡大に努めながら、市民の競技力向上を目指します。									
2 施策の成果把握									
① 成果指標（意図の達成度を表す指標）		◎ 目標達成(100%以上) △ 目標を未達成(100%未満)							
		単位	区分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	目標達成の方向性
A	日頃から運動・スポーツを行っている市民の割合	%	成り行き値	62.7	62.7	62.7	62.7	62.7	更なる増加を目指します
			目標値	64.0	66.0	68.0	70.0	71.5	
			実績値					64.3	
			達成率					90%	
			結果					△	
B	運動・スポーツを行いやすい環境が整っていると思う市民の割合	%	成り行き値	51.1	51.1	51.1	52.0	52.0	更なる増加を目指します
			目標値	52.0	53.0	54.0	55.0	56.0	
			実績値					53.1	
			達成率					95%	
			結果					△	
C	市内体育施設の年間利用者数	人	成り行き値	921,000	921,000	921,000	921,000	921,000	更なる増加を目指します
			目標値	925,000	927,000	929,000	931,000	933,000	
			実績値	909,734	909,137	655,357	646,523		
			達成率	98%	98%	71%	69%		
			結果	△	△	△	△		
D	スポーツキャンプ・スポーツ合宿・大会の誘致団体数	団体	成り行き値	15	14	14	14	14	更なる増加を目指します
			目標値	20	20	20	20	20	
			実績値	21	15	9	9		
			達成率	105%	75%	45%	45%		
			結果	◎	△	△	△		
E	スポーツ競技団体の加入者数	人	成り行き値	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	更なる増加を目指します
			目標値	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	
			実績値	8,663	8,134	8,068	7,435		
			達成率	72%	67%	67%	61%		
			結果	△	△	△	△		
② 成果指標の測定方法（実際にどのように実績を把握するか）				③ 2022年度の目標値設定の考え方					
A 日頃から運動・スポーツを行っている市民の割合 ※市民意識調査				A 健康、体づくりに関する情報の提供、スポーツに親しみ、スポーツを通じて心身の健康とスポーツの楽しさを体験できる事業の普及・啓発に努めることで、2017(平成29)年度の現状値62.7%から2022(令和4)年度71.5%を目指す。					
B 運動・スポーツを行いやすい環境が整っていると思う市民の割合 ※市民意識調査				B スポーツ活動の拠点となるスポーツ施設を市民が快適に利用できるような年次的に整備し、2017(平成29)年度の現状値51.1%から2022(令和4)年度56.0%を目指す。					
C 市内体育施設の年間利用者数 ※各施設の利用者数実績				C 各種スポーツ団体と連携し、市民が参加しやすい大会等を増やしていくことで、2016(平成28)年度の現状値921,538人から2022(令和4)年度933,000人を目指す。					
D スポーツキャンプ・スポーツ合宿・大会の誘致団体数 ※誘致団体等の件数実績				D トップレベルのスポーツキャンプや合宿、大規模な競技大会等は、本市のスポーツ振興に大きく寄与することから、引き続き誘致活動を行い、2022(令和4)年度の目標値20団体を目指す。					
E スポーツ競技団体の加入者数 ※スポーツ競技団体への加入状況				E 各種スポーツ団体と連携してスポーツ教室を実施するなど底辺拡大に取り組むことで、2016(平成28)年度の現状値12,043人から2022(令和4)年度12,100人を目指す。					
				F					

3 基本計画期間で解決すべき施策の課題(総合計画より)

本市は、関係機関と連携し、「霧島スポーツまつり」や「霧島市・上野原縄文の森駅伝大会」の開催、市民総参加型のスポーツイベントである「チャレンジデー」への参加など、各種スポーツ活動に取り組んできました。

スポーツ活動は、心身両面にわたる健康の保持増進に資するものであることから、年齢や性別、障害の有無に関わらず、誰もが楽しめるスポーツやレクリエーションの充実を図るとともに、総合型地域スポーツクラブや指導者などの育成等を通じ、市民が、生涯にわたり、「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しむことができる環境づくりを行う必要があります。

また、本市出身のスポーツ選手の活躍が、市民の感動やあこがれにつながり、スポーツを始める動機づけにもなることから、各スポーツ団体等と連携し、競技スポーツの推進を図るとともに、本市のスポーツ振興や魅力の情報発信につながるスポーツキャンプの誘致・受入を推進する必要があります。

さらに、スポーツ施設・設備の老朽化や利用者ニーズの多様化、2020(令和2)年の第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」、第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」の開催等を踏まえ、利用者の安全性や利便性を考慮した施設等の整備や修繕等に取り組んでいく必要があります。

4 施策の現状

①2021年度施策の取組方針

- スポーツ推進委員や各種スポーツ団体、総合型地域スポーツクラブ等と連携し、全ての市民がスポーツに親しむことができる機会やきっかけづくりに努める。
- トップレベルのスポーツキャンプや合宿、大規模な競技大会等が本市で開催されることは本市のスポーツ振興に大きく寄与することから、既存のチーム等に加え、新規のキャンプや大会などを誘致する活動を行い、誘致団体等の増加を目指す。
- 市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設を安全かつ快適に利用できるよう計画的に整備を行う。
- 2023(令和5)年に開催される特別国民大会かごしま国体及び特別全国障害者スポーツ大会かごしま大会に向けて、必要な準備及び施設の整備を行う。

②2021年度の取組方針の達成状況

- スポーツ推進委員によるニュースポーツ体験講座やスポーツ協会による競技別大会、各地区スポーツ祭の実施により、市民に運動機会を提供することができた。
- スポーツキャンプや大会等の誘致活動を行い、9団体のキャンプが実施された。特に11月末には新たに豊田自動織機「シャトルズ愛知」のラグビーキャンプも行われ、今後の誘致に繋がる取組ができた。
- 指定管理者等と密に連携を図り、スポーツ施設の必要な修繕を行い、利用者に安全、安心な利用環境を提供できた。
- 国体の各競技会場の現状を調査し、修繕すべき箇所について把握するとともに、関係課と調整を進めることができた。

5 2022年度施策の取組方針

- スポーツ推進委員や各種スポーツ団体、総合型地域スポーツクラブ等と連携し、全ての市民がスポーツに親しむことができる機会やきっかけづくりに努める。
- トップレベルのスポーツキャンプや合宿、大規模な競技大会等が本市で開催されることは本市のスポーツ振興に大きく寄与することから、既存のチーム等に加え、新規のキャンプや大会などを誘致する活動を行い、誘致団体等の増加を目指す。
- 市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設を安全かつ快適に利用できるよう計画的に整備を行う。
- 2023(令和5)年に開催される特別国民大会かごしま国体及び特別全国障害者スポーツ大会かごしま大会に向けて、必要な準備及び施設の整備を行う。

政策体系	政策No.	4	基本事業名	生涯スポーツの推進	基本事業 主担当課	スポーツ・文化振興 課
	施策No.	4				
	基本事業No.	1				

1 基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

誰もが、それぞれの関心や適正に応じて、生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組み、ライフステージ等に応じたスポーツ活動を推進します。

また、地域住民により自主的・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブの育成等、市民が主体的に参画できるスポーツ環境を整備するとともに、多様化するニーズや環境の変化に対応した、新たな視点によるスポーツ指導者やコーディネーター役を担うスポーツ推進委員の養成に努めます。さらに、第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」、第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」の開催に向け、市民と一体となり、気運の醸成に努め、霧島ならではの魅力溢れる大会を目指します。

2 基本事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化しているか、更に今後どう変化するか?

- 2011(平成23)年にスポーツ基本法が制定され、スポーツ振興が国家戦略として位置付けられた。
- 2021(令和3)年に東京オリンピック・パラリンピックが開催された。
- 「国民体育大会・全国障害者スポーツ大会」の延期開催される。
- コロナ禍により市民の運動機会が減少している。

3 2021年度基本事業の取組方針

- スポーツ推進委員や各種スポーツ団体、総合型地域スポーツクラブ等と連携し、全ての市民がスポーツに親しむことができる機会やきっかけづくりに努める。
- スポーツ庁から示された「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、新型コロナウイルス感染症の拡大予防に努める。

4 2021年度の取組達成状況

- スポーツ推進委員によるニュースポーツ体験講座やスポーツ協会による競技別大会、各地区スポーツ祭の実施により、市民に運動機会を提供することができた。
- スポーツ庁や国、県から出される新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策に基づき、各社会体育施設の指定管理者やスポーツ少年団、スポーツ協会、スポーツ推進委員、総合型スポーツクラブ等に対し、必要な情報提供を行い、感染防止に努めた。

5 2022年度基本事業の取組方針

- スポーツ推進委員や各種スポーツ団体、総合型地域スポーツクラブ等と連携し、全ての市民がスポーツに親しむことができる機会やきっかけづくりに努める。

政策体系	政策No.	4	基本事業名	競技スポーツの推進	基本事業 主担当課	スポーツ・文化振興 課
	施策No.	4				
	基本事業No.	2				

1 基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

年間を通して温暖な気候で全国有数の観光地でもある本市の特性を生かし、国内外を問わず、各種スポーツ団体のキャンプ等や各種大会を招致することにより、市の活性化や観光客の誘致によるスポーツ交流人口の拡大に努めます。
また、トップアスリート選手によるスポーツ教室の開催など、各競技の底辺拡大や競技スポーツの向上に繋がる施策を展開します。
さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催を通して、市民の競技力向上や生涯にわたりスポーツ活動を継続できる環境づくりを目指します。

2 基本事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化しているか、更に今後どう変化するか?

- 2011(平成23)年にスポーツ基本法が制定され、スポーツ振興が国家戦略として位置付けられた。
- 2021(令和3)年に東京オリンピック・パラリンピックが開催された。
- 「国民体育大会・全国障害者スポーツ大会」が2023(令和5)年に延期開催される。
- スポーツキャンプ等の誘致によって、選手関係者や見学者等による交流人口が増加し地域の活性化が図られる一方、限られた施設を利用するに当たり、市民の利用との調整が必要である。これらを踏まえ、施設の充実等を求める意見がある。

3 2021年度基本事業の取組方針

- スポーツ協会、各種スポーツ団体と連携し、トップアスリート等によるスポーツ教室の開催など、各競技における競技力向上や底辺拡大を図る。
- スポーツキャンプや大会など誘致で実績のあるサッカー、野球、ソフトボール以外の競技についても誘致活動を行い、誘致団体数の増加を目指す。
- 2023(令和5)年に開催される特別国民大会かごしま国体及び特別全国障害者スポーツ大会かごしま大会に向けて、必要な準備を行う。

4 2021年度の取組達成状況

- デンソースポーツとの連携事業として、元バスケットボール女子日本代表選手による、小・中学生を対象とした「デンソーバスケットボール教室」を開催した。
- スポーツキャンプや大会等の誘致活動を行い、9団体のキャンプが実施された。特に11月末には新たに豊田自動織機「シャトルズ愛知」のラグビーキャンプも行われ、今後の誘致に繋がる取組ができた。
- 国体の延期に伴う市民の気運の再醸成の手段として、コロナ禍ではあったが、広報啓発・市民運動について、鹿児島空港での手作り応援のぼり旗設置や大型店舗でのPR、花育で教室、ダンス講座の開催など、これまでにない取組を行うことができた。

5 2022年度基本事業の取組方針

- スポーツ協会、各種スポーツ団体と連携し、トップアスリート等によるスポーツ教室の開催など、各競技における競技力向上や底辺拡大を図る。
- スポーツキャンプや大会など誘致で実績のあるサッカー、野球、ソフトボール以外の競技についても誘致活動を行い、誘致団体数の増加を目指す。
- 2023(令和5)年に開催される特別国民大会かごしま国体及び特別全国障害者スポーツ大会かごしま大会に向けて、必要な準備を行う。

政策体系	政策No.	4	基本事業名	スポーツ施設の整備	基本事業 主担当課	スポーツ・文化振興 課
	施策No.	4				
	基本事業No.	3				

1 基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

地区自治公民館や自治会が行う施設整備や備品購入への支援を通して、地域におけるスポーツの振興を図ります。
また、市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設の充実を図るため、老朽化した施設や設備の整備、バリアフリー化を年次的・計画的に行うとともに、適正な維持管理に努めます。
さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催に向け、選手や来場者が快適に利用できる施設整備に努めます。

2 基本事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化しているか、更に今後どう変化するか?

- 2011(平成23)年にスポーツ基本法が制定され、スポーツ振興が国家戦略として位置付けられた。
- 2014(平成26)年に霧島市公共施設管理計画を策定し、スポーツ施設を含む公共施設の総量縮減を決定した。
- 2021(令和3)年に東京オリンピック・パラリンピックが開催された。
- 「国民体育大会・全国障害者スポーツ大会」が2023(令和5)年に延期開催される。
- 市民や指定管理者等から、経年劣化による施設・設備の修繕要望等が年々増加している。

3 2021年度基本事業の取組方針

- 市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設は、安全かつ快適に利用できるよう計画的に整備を行う。
- 霧島市公共施設管理計画に基づき、既存の体育施設のあり方について、今後、統廃合を含めた検討を行う。
- 2023(令和5)年に開催される特別国民大会かごしま国体及び特別全国障害者スポーツ大会かごしま大会に向けて、施設の整備を行う。

4 2021年度の取組達成状況

- 指定管理者等と密に連携を図り、スポーツ施設の必要な修繕を行い、利用者に安全、安心な利用環境を提供できた。
- 「霧島市社会体育施設長寿命化計画」の策定に向けた準備を進めることができた。
- 国体の各競技会場の現状を調査し、修繕すべき箇所について把握するとともに、関係課と調整を進めることができた。

5 2022年度基本事業の取組方針

- 市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設は、安全かつ快適に利用できるよう計画的に整備を行う。
- 霧島市公共施設管理計画に基づき、既存の体育施設のあり方について、今後、統廃合を含めた検討を行う。
- 2023(令和5)年に開催される特別国民大会かごしま国体及び特別全国障害者スポーツ大会かごしま大会に向けて、施設の整備を行う。

第二次霧島市総合計画(前期基本計画)総括シート

政策体系	政策No.	4	政策名	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)	施策幹事課					
	施策No.	4	施策名	スポーツを楽しむ環境づくりの推進	スポーツ・文化振興課					
計画期間(2018年度～2022年度)における施策の方針 (総合計画書から引用)					関係課					
市民が夢や希望を持って生涯にわたり、それぞれの志向にあったスポーツやレクリエーション活動を継続できる環境づくりに取り組みます。 また、各種スポーツ大会・イベント等に対応できる施設や設備等の整備を行い、大会・イベント等の誘致拡大に努めながら、市民の競技力向上を目指します。					市民活動推進課、国民体育大会推進課、健康増進課、観光PR課、社会教育課、国分中央高等学校					
施策の方針に対する達成状況(2018～2021)					次期計画への課題					
<ul style="list-style-type: none"> ■スポーツ推進委員によるニュースポーツ体験講座やスポーツ協会による各競技別大会、広く市民を対象とした各地区スポーツ祭を実施し、市民に運動機会を提供できた。 ■プロスポーツキャンプや合宿の継続的な誘致活動、受入を行い、市民にトップレベルのプレーを間近で見る機会を提供することができた。 ■市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設を安全かつ快適に利用できるよう指定管理者等と連携を図り、必要な修繕を行い、安全、安心な利用環境を提供できた。 ■2023(令和5)年に開催される特別国民大会かごしま国体及び特別全国障害者スポーツ大会かごしま大会(以下、国体等)に向けて、施設修繕・整備等の調整が図られた。 					<ul style="list-style-type: none"> ■ウィズコロナでのスポーツ活動の実践や普及活動を推進する。 ■トップアスリートによるスポーツ教室や、講演等により関心層を拡大する。 ■スポーツ交流人口増大のため、スポーツキャンプ団体の継続受入や新規団体の誘致を進める。 ■社会体育施設の安全、安心な管理運営と画的な改修を進める。 ■国体等に向け受入態勢を整え、市民の気運をさらに高め、そこで得たノウハウ等を継承・活用する。 					
成果指標 (意図の達成度を表す指標)		◎目標達成(100%以上) △目標を未達成(100%未満)								
		単位	目標達成の方向性	区分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	達成率 結果
A	日頃から運動・スポーツを行っている市民の割合	%	更なる増加を目指します	目標値	64.0	66.0	68.0	70.0	71.5	90.0%
				実績値	-	-	-	-	64.3	△
B	運動・スポーツを行いやすい環境が整っていると思う市民の割合	%	更なる増加を目指します	目標値	52.0	53.0	54.0	55.0	56.0	95.0%
				実績値	-	-	-	-	53.1	△
C	市内体育施設の年間利用者数	人	更なる増加を目指します	目標値	925,000	927,000	929,000	931,000	933,000	69.0%
				実績値	909,734	909,137	655,357	646,523	-	△
D	スポーツキャンプ・スポーツ合宿・大会の誘致団体数	団体	更なる増加を目指します	目標値	20	20	20	20	20	45.0%
				実績値	21	15	9	9	-	△
E	スポーツ競技団体の加入者数	人	更なる増加を目指します	目標値	12,100.0	12,100.0	12,100.0	12,100.0	12,100.0	61.0%
				実績値	8,663.0	8,134.0	8,068.0	7,435.0	-	△
基本事業	4年間の取組内容			4年間の取組成果			次期計画への課題			
①生涯スポーツの推進	<ul style="list-style-type: none"> ■スポーツ推進委員や各種スポーツ団体、総合型地域スポーツクラブ等と連携し、全ての市民がスポーツに親しむことができる機会やきっかけづくりに努めた。 			<ul style="list-style-type: none"> ■各種スポーツ団体と連携し、ニュースポーツ体験講座や各競技別大会、各地区スポーツ祭等を開催し、市民の運動機会の提供を図ることができた。 			<ul style="list-style-type: none"> ■ウィズコロナでのスポーツ活動の実践・普及活動を推進する。 ■スポーツや運動に関心がない市民へのアプローチを工夫する。 ■地域部活動の導入や受入体制を整備する。 			
②競技スポーツの推進	<ul style="list-style-type: none"> ■スポーツキャンプや大会など新たな競技の誘致や団体数の増加を目指した。 ■国体等に向けた準備を行った。 			<ul style="list-style-type: none"> ■コロナ禍でスポーツキャンプの受入数は減少したが、新規団体を誘致するなどして、市民にトップレベルのプレーを間近で見る機会を提供することができた。 ■イベントでのPR、花育で教室、ダンス講座の開催などにより、国体等開催への気運を高めることができた。 			<ul style="list-style-type: none"> ■スポーツ交流人口増大のため、スポーツキャンプ団体の継続した受入を確保し、新規団体の誘致を進める。 ■国体等に向け受入態勢を整え、市民の気運をさらに高め、そこで得たノウハウ等を継承・活用する。 			
③スポーツ施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> ■指定管理者等と密に連携を図り、必要な修繕を行うなど、社会体育施設の計画的な整備を行った。 ■国体等に向けた施設の整備を行った。 			<ul style="list-style-type: none"> ■施設の整備により、利用者に安全、安心な利用環境を提供できた。 ■国体等に向けて、施設修繕・整備等の調整を図ることができた。 			<ul style="list-style-type: none"> ■社会体育施設の安全、安心な管理運営と画的な改修を進める。 			